

仕 様 書（ 請 負 ）

1 件名

量子メス棟加速器電源室用のサブベース設置作業

2 数量

一式

3 目的

量子メス棟電源室のフリーアクセスフロア施工に先立ち、電源等を設置するためのサブベースの設置作業を行う。

4 履行期限

令和7年9月12日(金)(但し、現地での作業は8月29日までに終えること。)

5 履行場所

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

量子医科学研究所 量子メス棟 地下1階 加速器電源室

6 仕様

量子メス棟電源室にはフリーアクセスフロアが施工され、各電源はサブベース上に設置される。本作業では支給されるサブベースの搬入、据付、アンカー打設、防水処理を行うこと。サブベースは令和7年8月1日～8月7日の間で支給される予定であり搬入に当たっては当機構と日程等を調整すること。また、サブベースは床面の凹凸を吸収できるよう低めに作られるため、据付時には適切にスペーサを入れて高さや傾きを調整すること。サブベース上に設置される盤の詳細は表1を、それらの配置は図1を参照すること、サブベースの外形図等は契約締結後に開示する。床下スラブは床表面から50mmの深さに鉄筋が存在するため、これら鉄筋を損傷しないよう配慮し、アンカー打設を行うこと。作業工程の詳細については、当機構担当と協議の上、決定のこと。

サブベースの設置作業時は、量子メス棟の建物工事が行われている為、作業期間、搬入口使用等、事前に建築側と調整を行うこと。また、電源室内の仮設照明と仮設電源は使用可能であり、こちらも事前に建築側と調整を行うこと。作業員の詰め所は当機構で準備する。作業に伴って発生する産業廃棄物は受注者で処分すること。

7 提出図書

作業着工前、作業期間中及び作業終了後、下記内容を含む図書を提出のこと。尚、報告書は2部提出のこと。報告書の電子版(PDF、CAD データ等)をもあわせて提出のこと。

- A) 全体エンジニアリングスケジュール(契約後速やかに)
- B) 全体作業工程表(作業着工2週間前)
- C) 作業施工図書(要承認)
- D) 作業要領書(要承認)
- E) 現地作業報告書(作業写真を含む)
- F) 実施体制表(契約後速やかに)
- G) 現地作業体制表(作業着工2週間前)
- H) 作業員名簿(作業着工2週間前)
- I) 有資格者証明書(作業着手1週間前)
- J) KY 実施記録(自主管理)
- K) 打合せ議事録(都度)
- L) 不具合、不適合に関する書類(必要に応じ)

8 検査

本仕様を満足した業務内容が履行されているかを当機構担当職員が確認したことを以て、検査合格とする。

9 その他

- (1) 本業務着手前に、監督職員へ作業要領書を提出し、承認を得ること。
- (2) 本作業に当たっては、監督職員と打合せのうえ実施すること。
- (3) 本作業において、疑義が生じた場合は監督職員の指示を受けること。
- (4) 検査完了後、1年以内に生じた不具合に対しては、無償にて修理対応を行うこと。
- (5) 請負業者は本業務遂行にあたり知りえた情報を発注者の許可なくして第三者に開示してはならない。

10 グリーン購入法の推進

- (1) 本契約において、グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)に適用する環境物品(事務用品、OA機器等)が発生する場合は、これを採用するものとする。
- (2) 本仕様に定める提出図書(納入印刷物)については、グリーン購入法の基本方

針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

11 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、量研と協議のうえ、その決定に従うものとする

課(室)名	物理工学部
使用者氏名	松葉 俊哉

表 1. 盤リスト

盤番号	名称	ラック数	サイズ W×L	想定重量 (kg/1 ラック)
25	超伝導 2 極電磁石電源	4	2000×1680	4000
26	超伝導 4 極電磁石電源	1	700×1250	1400
27	シンクロトロン用高速 4 極電磁石用電源	1	1000×1540	3700
28,29	シンクロトロン出射セプタム電磁石用電源	2	3000×1740	5000
30	MEBT 偏向電磁石用電源	1	600×1020	315
31,32	MEBT4 極電磁石電源	2	600×1020	300
33	MEBT ステアリング電磁石電源	1	600×1020	560
34	高速バンプ電源充電部	1	600×1400	450
35	シンクロトロン静電インフレクタ用高圧電源	1	900×1340	800
36	シンクロトロン用高速 4 極電源	1	700×1500	532
37	高周波アンプ	1	570×850	400
38	シンクロトロン補正 6 極電源	1	700×950	415
39	シンクロトロン出射 6 極電源	1	700×950	415
40	シンクロトロンステアリング電磁石電源	1	600×950	500
41	HEBT ステアリング電磁石電源	1	600×950	490
42	HEBT4 極電磁石用電源	2	600×1000	760
43	HEBT 偏向電磁石用電源	3	600×1000	800
44	高周波制御盤	1	800×800	500
45	主加速器制御盤	1	800×800	500
46	主加速器モニタ盤	1	800×800	500
47	インターロック盤	1	800×800	300
48	タイミング制御盤	1	800×800	500
49	HEBT 制御盤	1	800×800	500
50	ビーム出射制御盤	1	800×800	1000

※サイズは暫定版であり、配置も含めて変更の可能性がある。

図 1. 電源室盤配置図

